

G7感想

2023/05/27

DEEP ACID

目次

1. 会議開始前

- 当初はやる意義はないと思っていた
- 本当に関催すべき会議は何かを考えていた

2. 会議が始まると

- QUADでインド参加、G7ゲストでブラジル参加
- そして、ゼレンスキー参加

3. 会議後の感想

- 結果的に大成功
- 中露の反発に手を打て
- グローバルサウスの説得方法
- 広島的演出は世界に届いていない、しかし

当初はやる意義はないと思っていた

- 今の世界は分断されている。コロナの影響もあるが、なんと
言ってもロシアのウクライナ侵攻だ。本来、世界は停戦を目指
して動くのが筋なのに、欧米側のやっていることといえば、ウ
クライナ側への武器支援である。要するに、「**火に油を注い
でいる**」のが現状ではないか。そんな時期に欧米側諸国（英
米独仏伊加日 + **EU**）だけが集まる**G7**にいったい国際会議とし
ての意味があるのか、私ははなはだ疑問だ。
- 経済会議としても、エネルギーや食料問題を考えたら、中国や
グローバルサウスを外した議論の意義は極めて薄いと感じざる
を得ない。

本当に開催すべき会議は何かを考えていた

- 今、国際会議をやるのであれば、**米中印の3カ国**が顔を突き合わせる場を持つべきだろう。何しろ、中国はついにウクライナ侵攻の停戦へ本気で動き始めた国だ。インドもグローバルサウスの中心的存在として、世界の動きに関わってもらわなければならない。
- 歴史的に中国が信用できないなどと言ってる場合ではない、ウクライナ停戦に関しては、**欧米は中国を支援するくらいの態度**を見せて欲しい。今の時代にやるべき国際会議はそれだ。欧米諸国の馴れ合い会議のために、広島市民が学校や保育所の休園などの生活への支障をがまんしてまでやる必要のある会議ではない。

QUADでインド参加、G7ゲストでブラジル参加

- しかし、直前になって、3カ国が増えた。まずQUAD同時開催でインドのモディ首相が来日。さらに、ブラジルやインドネシアなどのグローバルサウス諸国が集まり、注目に値する会議としての期待が出てきた。
- インドは核保有国。G7もドイツ、イタリア、カナダ、日本以外は核保有国。彼らが“揃って”広島を訪れることに大きな意義を感じる。

そして、ゼレンスキー参加

- そして、ゼレンスキー大統領の突然の来日。岸田首相の電撃ウクライナ訪問よりも、ゼレンスキーの広島訪問の方が大きい。彼がニュートラルな立ち位置にいるグローバルサウスにどうやって協力要請するのか、これは大きな転換点になる可能性も出てきた。
- ※まあ、それでも中国が外れているのは物足りないのだけど。そもそも、台湾問題は扱いは小さかったと言わざるを得ない。

結果的に大成功

- 当初、西側諸国の仲良しこよしなイベントなんかやっても意味ないだろ、と思っていたら、**QUAD**でインドのモディ首相が来日、さらにブラジルのルーラ大統領などグローバルサウスまでが集い、最終的にゼレンスキー大統領も訪日、グローバルサウスと直接対談し、最終日には平和公園での献花も岸田首相とのツーショットまでやった。これはさすがに大成功であろう、たとえ政治パフォーマンスショーだとしても、このお膳立てはどこか1カ国の頑張りでどうにかなるものではないから。とはいえ、あくまでも政治イベント、これからの実際の政治にどう反映させるかが問題。

中露の反発に手を打て

- 反面、バイデンがF16供与を認めたこともあり、**露中の警戒感を煽った**面もある。これは仲良しこよしイベントと皮肉った当初から危惧していたこと。中国とは別途、早急に対話の場を持つ必要がある。

グローバルサウスの説得方法

- ゼレンスキー大統領が直接グローバルサウス諸国（実際はインドとインドネシアだけだったようだが）と対談したことは確かに大きな成果。とはいえ、モディ首相の様子を伺うに、やはり相変わらず、**自分たち途上国をやっかいな問題に巻き込むな、巻き込むなら相応の対価を支払え**、という態度に思える。日本だって武力供与まで巻き込まれる訳にはいかない、あくまでも難民支援などの人道支援にとどめるべき。逆に言えば、**日本も実は中立なのだ**、と言って彼らを説得する、という手もあろう（岸田はむしろ中立を嫌がっている様子があるが、国民はあくまでも中立だ）。

広島的演出は世界には届いていない、しかし

- 結局、ちびまる子ちゃんを放送中止にしてまで生中継したゼレンスキー大統領と岸田首相の原爆犠牲者献花だが、残念ながら世界ではあまり大きく報じられていない、バフムトのロシア占領がトップ記事となっている。今はリアリズムの時代、ベトナム戦争の頃だったら、もっとこちらでも世界で注目されたであろう。まあ今日1日の報道だけで全てを判断すべきではないだろう。今回の**G7**が少しでも核廃絶への道筋をつけるイベントになって欲しい。
- 少なくとも、**国際政治においてはパンデミックは終わった**。これ以上は分断が進まないようにするための各国宰相が直接対談する会合としての意義は大きかったと考える。

END